

会員 各位

一般社団法人日本鑄造協会  
技術部会 エネルギー削減委員会  
委員長 山本 雅之  
(公 印 省 略)

## CO<sub>2</sub> 排出量とエネルギー使用量アンケートへのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、一般社団法人日本鑄造協会のエネルギー削減推進委員会では、鑄造業界の CO<sub>2</sub> 排出量の調査とエネルギー使用量(原油換算)の調査を行っております。2021 年よりカーボンニュートラル特別委員会が発足し、(公社)日本鑄造工学会、(一社)日本大会スト協会の協力も頂き、直近 3 年間は約 200 の事業所からご回答を頂きました。それらを基に、鑄鉄・鑄鋼、およびアルミ、銅合金の統計処理、溶解部門の調査も行い、鑄造ジャーナルおよび鑄造工学にて報告させていただきました。同じ内容が鑄造協会 HP の会員向けページでもあります「カーボンニュートラルの取組」にも掲載されています。

国内での鑄造に関する CO<sub>2</sub> 排出量等の調査としては唯一のものであり、今後の CN に向けた取組を考える基礎的なデータでもあります。本年度も昨年度同様、鑄造業界の CO<sub>2</sub> 排出量の把握と削減の議論を進めて参りますので、多くの事業者のご協力の程、よろしくお願いします。

敬具

記

1. アンケート回答期日 **2025 年 10 月 3 日(金)**
2. 回答年度等

アンケート回答年度	2024 年度(令和 6 年度)
電気事業者別排出係数	2023 年度(令和 5 年度)
3. 添付資料
  - ①2025 年度エネルギー使用量調査アンケート
  - ②電気事業者別排出係数 2024 年度実績表(主要電力会社は①の選択肢に添付)
  - ③(ご協力お願いします):省エネ事例:施策表掲載用フォーマット.docx
4. アンケート送付・問合せ先

社団法人日本鑄造協会 技術・環境グループ (担当:吉沢)  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 501 号  
電話 03-3431-1375、(Mobile)080-3738-4292 FAX 03-3433-7498  
E-mail :yoshizawa@foundry.jp

機密保持について:回答頂いた個別のデータは各社の機密情報も含まれますので、非公開としております。  
調査結果を鑄造ジャーナルなどに報告する際には、統計処理したグラフやその分析内容のみを公開しています。

## 5. アンケートの記入方法

材料(鋳鉄、アルミなど)毎にデータを集計したいので、複数の工場・事業所がある場合は、可能な範囲で、各工場・事業所単位でご報告頂けると助かります。

### 記入用紙1 全体 ⇒ 昨年と同じ調査内容です

- ①基本事項を入力する。: **昨年度のデータのコピペでも可**

貴社の基本情報、生産品目、電力会社など

- ②Sheet2 を使って、エネルギー使用量を集計する

- ①生産量: 昨年 4 月～今年 3 月の各月溶解重量・生産重量  
②燃料等: 同上、各月の燃料使用量  
③電 気: 同上、各月の電気使用量

- a. **鋳造工程(溶解から素形材完成)**までに使用した燃料等を回答下さい。

(鋳造工程(溶解から素形材完成)・・・溶解、造型、注湯、型ばらし、切断、仕上げ等の鋳造工程全般と、その後の切削等の機械加工、塗装等の仕上げ・加工まで。)

- b. 複数の工場・事業所がある場合は、各工場・事業所単位での**燃料・電気等使用量**をご回答下さい

- ③生産設備の概要: **昨年度のデータのコピペでも可**

- ①キューポラ、保持炉、誘導炉の能力と定格電力  
②集塵機・コンプレッサの能力と電力(消費電力の大きいものを記入)。

④省エネ・CN での困り事: **新設** 来年度の省エネセミナーに向け、各社の困り事を調査しています。

⑤省エネ事例: **新設** 鋳造協会 HP に省エネ施策表を公開中。具体例提出に、ご協力をお願いします。

### 記入用紙2 溶解工程について ⇒ 昨年度から追加した調査内容です

鋳造の中でも最も多くのエネルギーを消費する、溶解工程について詳細に調査します。このデータを活用して、キューポラ操業研究委員会、電気炉操業研究委員会などの各専門委員会でも、溶解工程での省エネへの課題を議論します。そのためにも、キューポラ、誘導炉、アルミ用溶解炉(ガス炉など)等に分けて、ご回答に協力をお願いします。**\*)すでにデータをお持ちの事業所は、実績を上書きできるようにしました。**

- ①共通 … 溶解工程が占めるエネルギー使用量の割合の調査  
②キューポラ … 様々な操業状態、材料との関係、**吸炭の影響**、今後の更新計画など  
③誘導炉(電気炉) … 各事業所の生産重量と溶解電力原単位の関係の調査  
④アルミ … 生産量との関係、集中溶解と個別溶解等による違い、鉄、銅合金との違い  
⑤銅合金 … アルミと同様の分析の実施  
⑥精密鋳造 … 精密鋳造特有のプロセスの現状調査

以上

**\*)溶解設備が多くて記入しきれない場合は、別途事務局までお問合せ下さい。溶解炉の種類と台数など最低限の情報のみ記載し、エネルギー使用量データのみ提供頂く、など相談に応じます。気軽に声をおかけください。**